

市政の窓



No.58

「あついで」夏

今年の夏は、殊のほか暑く、そして、暑い夏でした。都心では猛暑日の連続記録が更新され、本市でも連日30度を超える真夏日が続く中、先月4日、5日に行われた八重垣神社祇園祭では、炎天を物ともしない人々の熱気と活気が大いに盛り上がり、300年を超える祭りの歴史に、また新たな1ページが刻まれました。

さて、今年は、戦後70年の節目に当たり、広島や長崎をはじめ、各自治体では、核兵器廃絶や世界平和への願いを込めた式典が挙行されました。本市でも世界の恒久平和を願い、八日市場駅前広場に設置した平和の像に、市民の皆さんから届けられた約8万5千羽の折り鶴をささげました。世界では今なお戦争や内戦、テロリズムがやまず、改めて平和の尊さを次の世代に責任を持って伝えていくことを誓いました。

節目では、高校野球も今年で100年を迎え、甲子園を舞台に清宮選手やオコエ選手など注目選手の活躍が大きな話題を集めました。14日間にわたる熱戦の末、投打の総合力に勝る東海大学付属相模高校の優勝で幕を閉じましたが、数々の熱闘は球史と記憶に残る素晴らしい大会となりました。また、海水温度の上昇によるものか、その真偽のほどは分かりませんが、太平洋沿岸に突如サメが出没。先月20日には、本市の沖合でもサメのような生物の目撃情報が寄せられました。幸い被害などもなく安堵したものの、周辺の海水浴場は急ぎよ遊泳禁止となるなど、何とも人騒がせな出来事でした。

好天により稲の生育も良好で、例年より1週間ほど稲刈りが早まり、今からわが家の食卓に新米が上る日を心待ちにしています。おいしい匠産米産米で元氣回復。9月定例市議会や秋の諸行事、そして、市制施行10周年記念事業にしっかりと取り組んでまいります。

匠産市長 太田安規

図書館だより

休館日…3日(木)・22日(火)・毎週月曜日

★ホームページで最新情報を配信

図書館のホームページでは、催し物(わらべうたの会や歴史ウォーク)などの情報をいち早く知ることができます。また、フォトギャラリーでは、八日市場図書館の企画展示や、のさか図書館のネコ館長の様子を見ることができます。

スマートフォン専用サイトもあります。

★利用に便利なパスワード登録を

中学生以上の方はホームページのパスワードが登録できます。登録しておく、ホームページから、本の検索だけでなく予約や貸出し延長が可能になります。

登録するには、図書館カードと身分証明書を持って、八日市場図書館のカウンターに17時までにお越しください。

今月のイベント

★おはなし会

日時…毎週土曜日 14時～約30分間
会場…八日市場図書館
問八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

寄付 (2万円以上)

●社会福祉協議会へ

高田直子様より …50,000円
そうさカラオケ友の会様より …33,332円

文芸コーナー

短歌

小泉 泰清 推薦

お手玉三つ放りつ受けつ幼日の今老いの手に手捌きならず

飯倉台 多部田佐智子

七十余日本海溝に沈みいる空母信濃に兄も眠りぬ

椿 日色 和江

江戸の世を今に伝える馬籠宿軒の風鈴涼しさまねく

長谷 宇野とし子

山越しに盆踊りの囃子聞こえる御霊はいずこ月を見上げる

山崎 依知川雅一

熱戦の高校野球、さわやかに勝者敗者は固き握手す

八日市場イ 川手 芳

朝ごこの野菜の水やりせわしくもわが子のように声をかけたり

安久山 木下 昌子

ほがらかな人柄のまま逝きし母卒塔婆にのぼる蟻の行列

八日市場イ 椎名 昭雄

川口 城司 推薦

台風の前報のあれば咲初めし鬼百合三千本に支柱立てやる

栢田 小川 知至

玄関を開ければ門辺に黒猫の餌を乞ふること暫し動かず

野手 大木 政子

小雨の中生ひ茂りたる夏草を刈り終へ浸る昼風呂清し

野手 伊橋 良子

細き細き脚引き抜きて羽化とげし揚羽しわめる羽に身じろく

今泉 稲葉 雪子

俳句

八木 佐久司 推薦

夕顔のひらきて影の生まれけり 八日市場八 大川 宣子

椿新田の寺

春海を歩く

立秋を過ぎた干潟八万石は、見渡すかぎり黄金色に染まり実りの時をむかえました。

椿湖が干拓され工事開始から4年後の1674年から新田地が売り出されたときからいます。それから20年余りの間に農民の定住も進み、1696年に地域の春海村と米持村(豊和地区)の2か村を含む新田18か村が成立しました。この時、春海村内に農地を

持つ者は椿村の91人を最多に吉崎村26人、野手村14人と続き、近隣20余か村と遠くは江戸の2人を含む209人でした。

その中に瀬戸谷(春海村)11人の記載も見られ、村の成立時に瀬戸谷集落がすでに存在していたことがわかります。春海村の家数は1713年に57軒、1814年に167軒と増えました。



修福寺跡に建つ僧侶の墓塔

1678年ごろになると、「新田三社五か寺」といわれる神社と寺院が建てられました。春海村では水神社と修福寺がそれに当たります。5か寺のうち修福寺など3か寺は、いずれも鉄牛禅師を開山としました。鉄牛は、1654年に中国から渡来して黄檗宗を開いた隠元の教えを受けた禅宗の僧で、椿湖干拓の功労者とされています。

この功績で幕府から寄進された土地に福聚寺(東庄町)を建て、晩年をこの寺で過ごし、1700年に亡くなり同寺に埋葬されました。

春海区の寺院は現在、無量院のみですが、先に紹介したように春海村の成立前後に吉崎村や長谷村(共興地区)から移住した者があったため、長谷・如来寺の末寺の同寺が建てられたでしょう。

道路をはさんで無量院の反対側の墓地に、僧侶の墓塔がありその1基に「修福創建第二代」と刻まれています。5代から7代までの墓塔もあることから、隣接して修福寺が存在したのでしょう。しかし時代が経つにつれ維持も困難になり、廃寺になったと考えられます。

江戸時代、春海村にはこの2寺のほか、江戸の町人が建てたとみられる大通寺、福善寺が記録に見られますが、現在は墓地となっています。

修福寺跡は、椿新田の寺の歴史を伝えるよう墓地がきれいに整備されています。
(市文化財審議会委員・依知川雅一)

関秘書課広報広聴班

☎73・0080

川柳

鈴木十世志 推薦

たまゆらの風に味あり夜干梅	若潮町	光瀬甲江子
宇宙よりの人の声きく夜の秋	若潮町	最上 峻
駒真似の炎真つ直ぐ立ちのぼる	八日市場口	高安せい子
空一面夕焼雲のある別れ	内山	椿 和枝
特攻の我生かされて終戦日	上谷中	大田三樹夫
老農夫農政悔む稲穂かな	横須賀	吉野 ヨシ
風が風追いかけてゆく稲穂波	横須賀	岩井 やす
水やりを済ませてひとり夕涼み	今泉	野仲 妙子
ゆりの香の心なごむや庭作り	野手	小関 義一
妹に送る新ジャガ土付けて	栢田	石田 健

川口城司 推薦

壁ドンで君のハートを驚つかみ	飯高	松野 敏昭
合いの手を彼岸の経へ鐘を打ち	飯塚	鈴木ツネ子
彼岸花尼僧の頬を淡く染め	飯高	林 サダ子
曼珠沙華真つ赤に燃えて墓に添い	八日市場ホ	菱木 静枝
曼珠沙華彼岸を知って咲き始め	八日市場イ	常世田やす子
鶏頭を植えて彼岸の墓になり	木積	佐久間美智子
墓参り赤く迎える曼珠沙華	堀川	勝又 康之
コンビニのおはぎで済ます秋彼岸	東小笹	江波戸京子

川口城司 推薦

風鈴が真夏の暑さ薄くする
川 辺 及川 利道

力作 募集中

あて先：匠瑳市秘書課広報広聴班

〒228912198

匠瑳市八日市場八793番地2

☎73・0080 FAX72・1114